

## 単元名 学習のまとめ

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 漢字と平仮名の形や大きさの違い、行の中心や字間・行間の取り方に気を付けて配列よく書くことができる。  
(3) 1年間の学習の成果を振り返って、自分の学習の成果を確かめようとする。

## 標準的な展開例

05020302\_001

【教材名】『考える子』（毛筆）（P. 38～P. 41）

【準備等】毛筆練習用紙、硬筆練習用紙（行の中心や行頭の位置が示されているものなど）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 漢字と仮名の大きさに気を付けて、『考える子』を書く。</p> <p>★学習したことを生かして書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『考える子』を毛筆で試し書きする。</li> <li>○試し書きと教科書の文字を比較して、気付いたことを話し合う。</li> <li>○めあてを一つ選ぶ。</li> <li>○めあてを意識して、毛筆で『考える子』を練習する。</li> <li>○毛筆で『考える子』をまとめ書きする。</li> <li>○自己評価・相互評価をする。</li> </ul> <p>3 縦罫線の用紙に、文字の大きさや配列に気を付けて書く</p> <p>★文字の大きさや配列に気を付けて、硬筆で書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○配列に気を付けて、硬筆で『雪わたり』を書く。</li> <li>○読みやすく書くためには、どうしたらよいかを考える。</li> <li>○試し書きで自分の課題を見つけ、練習する。</li> <li>○『雪わたり』をまとめ書きし、自己評価・相互評価をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を見ないで書くようにさせる。</li> <li>・教科書P. 39の図版にある概形を参考に、平仮名は漢字より小さめに書くことを外形から気付かせる。</li> <li>・これまで学習したことの中からめあてを一つ選び、教科書P. 39に書き込ませる。</li> <li>・自分の課題に合った練習用紙を活用したり、作成したりして練習できるようにする。（かご書き・骨書き・外形・中心線）</li> <li>【評】練習や作品を通して、漢字と仮名の大きさに関する「知識・技能」を評価する。</li> <li>・全体で基準を確認し、正しく評価できるようにする。</li> <li>・隣席同士で、よい点を認め合えるようにする</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『雪わたり』を音読みし、難解な漢字、仮名遣い、意味などを確認する。</li> <li>・平仮名は漢字より小さめに書くこと、行頭をそろえること、文字の中心と行の中心をそろえて書くことなどを確認する。</li> <li>・教科書の行の中心に補助線を入れさせる。</li> <li>・自分の課題となったところを部分練習させる</li> <li>・行の中心や行頭の位置などを示した練習用紙を用意し、自分にあったものを選択させる。</li> <li>・隣席同士で、よくなった点を見付け合うようにする。</li> <li>【評】作品を通して、配列に関する「知識・技能」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】